

⚠ 注意

- ・オイルが減ると油圧回路内に空気が入り、油圧機器の作動が悪くなりますので、指定のオイルを過不足なく補給してください。

👉 アドバイス

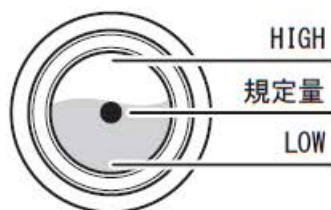
- ・オイル量の点検はエンジン始動前に行ってください。エンジン停止直後はオイルが膨張しており、正確なオイル量が点検できません。
- ・油圧作動油交換時はサクションフィルタも同時に交換してください。
- ・指定オイル、規定オイル量：👉39ページ



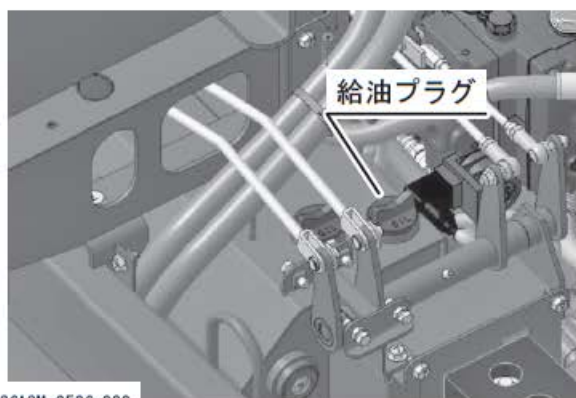
点検

1. 車体を水平な場所に停止させます。
2. オイルタンクのオイルレベルゲージを目視点検し、オイルの量および汚れを確認します。
3. オイル量が不足している場合は補給します。
4. オイルの汚れがひどい場合は交換します。

オイルレベルゲージ



5116M-0507-020



36A3M-0506-020

補給

1. ポンプカバーを取り外します。(M8, 4本)
2. 給油プラグを取り外します。
3. 給油口より指定のオイルを補給します。
4. オイル量を点検し、規定量入っていることを確認します。
5. 給油プラグを取り付けます。
6. ポンプカバーを取付けます。(M8, 4本)

交換

1. オイルを抜き取る適当な容器を用意します。
2. ドレインプラグを取り外し、オイルを排出します。
3. ドレインプラグを取り付けます。
4. オイルを補給します。
5. エンジンを始動し、油圧回路のエア抜きを行います。
6. オイル量を再度点検し、規定量入っていることを確認します。



36A3M-0506-060